

天然染料顔料会議 第17回大会 in 高知

2022. 10/29 (土)、10/30 (日)

会場：高知県立牧野植物園牧野富太郎記念館本館（高知県高知市五台山4200-6）

10/29 (土) 10:00-16:30 研究発表、展示解説 会場：映像ホール（定員50名）

[受付・事前登録の確認] 10:00~13:00 要旨集(26ページ)・土佐楮紙(A4)を頒布

[ポスター発表]10:00-12:00（自由に入場可）、ポスターと資料の展示は16:30まで

「高校服飾デザイン学科での伝統染織授業のとりくみ」

佐々木和也（宇都宮大学共同教育学部、教授）

青柳真理子・鵜寄萌子（栃木県立宇都宮白楊高校）

「5種類の藍染料発酵建による羊毛染2ーすくも藍・ウォードすくもと沈澱藍の発酵液について」

角寿子（北の藍染織工房）

「生薬の中の色素成分」

矢原正治（熊本有用植物研究所）

[高知セッション 展示]

「楮紙（土佐楮）、三桎紙（高知産）、雁皮紙（岡山産、高知産）」

濱田博正（鹿敷製紙株式会社、代表取締役）

[口頭発表]13:30-16:30

「緋のデジタルアーカイブ構築に向けた取り組みと東南アジアの主要な緋の現存状況に関する報告」

江口久美¹⁾、須藤竜之介²⁾、布施健吾¹⁾、鹿野雄一¹⁾、久保裕貴³⁾

¹⁾九州オープンユニバーシティ ²⁾九州大学 ³⁾感性AI株式会社

「緋の技法分類 — 呼称・技法・分布を中心に —

片岡淳（琉球大学名誉教授、大阪芸術大学客員教授）

「幼児教育における藍染活動の可能性」

佐々木和也* 本田 泉** 吉田麻美子***

*宇都宮大学共同教育学部 **保育所型認定こども園 ***那須高原保育園

「ロクショウグサレキン朽木からの青緑色素xylindeinの抽出および染色」

山田あずさ（九州大学大学院生物資源環境科学府）

[高知セッション]

「和紙原料生産を巡る協働とその変遷」

田中求（高知大学地域協働学部、教授）

コブナグサ *Arthraxon hispidus* Makino



The 17th annual meeting of Natural Dyes and Pigments Conference
in The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden, Oct 29-30, 2022

絹:新小石丸種、染料:コブナグサ *Arthraxon hispidus* Makino, 2007 八丈島

[展示解説]13:30-16:30

「中四国地方 暮らしの中の紺と縞」
水野恵子（寶水堂コレクション）

[資料展示]10:00-16:30 映像ホール（定員50名）、アトリエ実習室（10:00-12:00、定員25名）

「真綿手紡糸の椿葉灰媒染紫根染 10年の染めの記録と染糸」「縞紬帯と染真綿手紡糸資料」氏田眞弓
「天然染料と顔料を用いた型染の実験と制作」矢出尚子
「雑草と野菜の顔料と試し染め」大熊由吏江
「庭の花たちの染め 牡丹・芍薬・チューリップー抽出液と絹布の色」杜野ジーナ
「ウメノキゴケの発酵染：抽出と染色、九州で採取した染料植物」渋谷和美、津屋崎藍いるの会

[体験実習] 10:00-12:00 展示と体験、会場：アトリエ実習室（定員25名、満員）

土佐楮紙と天然染料・インク・顔料—染める・描く・書く・塗る

[資料展示]

天然染料の抽出液・インク・顔料、染色糸・布他

天然染料顔料会議年次報告書「天然の色」(2004-2018)バックナンバー（欠番有）

天然染色ノート2021：「アカネ科」「ムラサキ科 紫根」「黄色染料植物」

「茶色、灰色染料植物」「発酵染」、染色試料布集

*研究発表終了後、片づけ、解散、16:55 退出

10/30（日）10:00-16:30 研修、見学

[研修] 10:00-12:00 標本室・牧野文庫見学（定員20名、満員、10名×2班、9:50 本館1階集合）

[見学] 10:00-16:30 植物園、本館、展示館（自由見学—解散）

*各自、植物園入り口で入園料をお支払いの上、研修、見学に回る

*問い合わせ：大会事務局 ndpc.meeting@gmail.com

*お申し込みと登録 ホームページ <http://ndpc.info>にある登録用フォームからお申込みください。

主催：天然染料顔料会議 NDPC 事務局：047-0022 小樽市松ヶ枝2-3-9

染料の抽出：スタジイ *Shiia Sieboldii* Makino, 第4回大会 2007 八丈島, 東京